

---

---

**3 年次 (後期) ~ 4 年次 (前期)**

---

---

**【概要・目標】**

看護の対象を母性の視点から理解し、母児の健康を保持増進して行くための看護を学ぶ。特に周産期の対象理解を深め、必要な知識・技術・態度を養う。

1. 実習を通して、生命の尊厳や新たな家族の形成について自己の考えを深め、母性看護の役割について考察する。
2. 周産期にある対象を身体的特徴、心理的特徴、社会的特徴の側面から理解する。
3. 対象に応じた看護過程を展開する。
4. 看護計画に基づいて看護実践を行う。
5. 母児の健康を維持・増進するために必要な継続看護と保健指導について理解する。
6. 周産期医療におけるハイリスク状態にある児と家族の特徴を理解し、ケアについて学ぶ。
7. 地域における母子保健活動について理解する。

なお、詳細については、実習要綱を参照。

**【評価】**

実習目標達成度 (60%)、実習への参加態度 (20%)、提出物 (20%)

---

---

**保健看護実習 B (小児)****井上 みゆき 教授**  
**柳川 敏彦 教授**

---

---

**3 年次 (後期) ~ 4 年次 (前期)**

---

---

**【概要・目標】**

目的: 看護専門職を目指す実習生として、エビデンスに基づき子どもに最善のケアを提供するために、看護計画を立てる・実践する・評価する基礎能力を修得する。

1. 子どもの成長発達、病態を理解し、入院が子どもと家族に与える影響を理解する。
2. 子どもと家族の健康状態を把握し、必要な看護を計画、実践、評価する。
3. 子どもに携わる職種を知り、看護の役割を考える。
4. 看護専門職を目指す実習生としてふさわしい態度で実習に臨むことができる。

**【評価】**

実習目標達成度を記録、実践、姿勢・態度、カンファレンスでの発言、提出物から総合的に評価する。

---

---

**保健看護実習C（老年）****服部園美 准教授  
丸岡朋子 助教****3年次（後期）～4年次（前期）**

---

---

**【概要・目標】**

高齢者の健康・生活について幅広く理解し、高齢者を支える看護の実践を身につける。

- 1) 高齢者の加齢による身体的、精神的、心理的、社会的な特徴を理解し、健康問題や保健上のニーズを見極めることができる。
- 2) 高齢者が利用する在宅や施設サービスの役割や機能を理解し、高齢者が日常生活を自立するための援助について学ぶ。
- 3) 家庭や地域社会における高齢者の生活と健康問題を理解し、生活を支える援助について学ぶ。
- 4) 高齢者に必要な看護を計画し、実施・評価することができる。
- 5) 高齢者を取り巻く看護・医療・保健・福祉の制度や資源について理解し、他職種と連携した看護の役割、活動について学ぶ。
- 6) 高齢者に対し、尊厳のある姿勢や態度を身につけ、看護者としての役割を学ぶ。

**【評価】**

実習目標達成度（60%）、実習への参加態度（20%）、提出物（20%）

---

---

**保健看護実習D（精神）****山本明弘 教授  
檉葉雅人 講師  
早川博子 助教****3年次（後期）～4年次（前期）**

---

---

**【概要・目標】**

目的：こころの健康問題をもつことで日常生活に支障をきたした人々を「生活者」として統合的に理解し、既習の知識と技術を用いてその人らしい生活を送れるための基礎的な看護実践能力を養うと同時に、援助的人間関係形成の基本的技術を身につける。

- 目標：1) 対象者の個別性を活かした看護過程の展開ができる
- 2) 対象者の状態に応じた日常生活援助ができる
  - 3) 対象者と看護者との治療的関わりについて理解し実践することができる
  - 4) 精神保健医療福祉サービスの連携と看護職の果たす役割について考えることができる
  - 5) 精神保健医療福祉チームの一員としてふさわしい態度を身につける

実習期間：2週間

実習場所：和歌山県立医科大学附属病院 5-東病棟

社会福祉法人一麦会麦の郷 ソーシャルファームピネル

医療法人宮本病院社会復帰施設 多機能型事業所めばえ 地域活動支援センター櫻

詳細は実習要綱を参照のこと。

---

---

**【評価】**

実習目標達成度（60%）、実習への参加態度（20%）、提出物（20%）

---

---

**慢性期看護実習**

辻	あさみ	教授
上田	伊津代	講師
山口	昌子	講師
楠岡	雅	助教

---

---

**3年次（後期）～4年次（前期）**

---

---

**【概要・目標】**

慢性の病気をもって生きる患者と家族が、健康レベルに応じて生活を調整し、その人らしいQOLを維持・向上できるための看護を実践する基礎的能力を養う。

- 1) 患者の発達段階と発達課題について説明できる。
- 2) 患者の状態を病態、検査や治療から説明できる。
- 3) 患者の状態及び治療から生じる身体的苦痛とそれに関する要因を説明できる。
- 4) 患者及び家族に生じている心理的苦痛とそれに関する要因を説明できる。
- 5) 患者の状態及び治療から生じる身体的苦痛に対応した援助を実施できる。
- 6) 患者及び家族の心理的苦痛に対応した援助を実施できる。
- 7) その人らしさを尊重した方法で、援助を実施できる。
- 8) 患者や家族の反応に応じて、援助を実施できる。
- 9) 患者及び家族に必要な社会資源を説明できる。
- 10) 患者及び家族が直面する問題を対処するために、必要な保健医療チームメンバーの役割について説明できる。
- 11) 保健医療チームメンバーと連携して、看護を実施できる。
- 12) 看護職としての専門的な態度を身につけることができる。

---

**【授業内容・スケジュール】**

## 1) 受け持ち患者

原則として、1名の患者を受け持つ。

実習スケジュールなどの詳細については別途実習要項を配布する。

---

**【評価】**

評価の配分は、目標到達（60%）、記録内容（20%）、実習参加状況（20%）で総合評価する。  
記録内容には実習記録および提出した事前学習、資料を含む

---

**【推薦参考図書】**

適宜紹介する

---

---

---

**急性期看護実習**

池 田 敬 子 准教授

川 井 美 緒 助教

寒 川 友起子 助教

**3年次（後期）～4年次（前期）**

---

---

**【概要・目標】**

手術を受ける患者や家族が、急激な変化を生じる状況に対応し、生命の危機を乗り越え心身両面の回復や社会生活への適応に向けて主体的に取り組むための周手術期看護を実践する基礎的能力を養う。

- 1) ICUや手術室、実習病棟での看護の実際を見学することで、生命の危機的状況にある患者や周手術期にある患者の状況を理解し、それに対応した援助を考えることができる。
- 2) 患者の病態や術式を理解し、予測される患者への身体的・心理的影響を説明できる。
- 3) 患者の麻酔や手術による侵襲、および生体反応について説明できる。
- 4) 周手術期にある患者や家族の疾患・手術に対する認識、心理・社会的状況について説明できる。
- 5) 周手術期に行われている検査、治療、処置の根拠を説明できる。
- 6) 1)~5)を統合して周手術期患者の看護上の問題を明確にし、看護目標、看護計画を立案、実施、評価することができる。
- 7) 周手術期におけるリスク・マネジメントについて説明できる。
- 8) 保健医療チームのメンバーとしての役割を自覚し、連携・協力しながら援助できる。
- 9) 看護職としての専門的な態度を身につけることができる。

---

**【授業内容・スケジュール】**

## 1)受け持ち患者

原則として、1名の患者を受け持つ。

実習スケジュールなどの詳細については別途実習要項を配布する。

---

**【評価】**

評価の配分は、実習目標に対する到達度（60%）、実習への参加状況（20%）、記録内容（20%）とし、総合的に評価する。

記録内容には実習記録および提出した事前学習、資料も含む

---

**【推薦参考図書】**

適宜紹介する

---

**【その他】**

**【概要・目標】**

地域で療養生活を送る個人および家族の生活と、様々な健康課題に応じた看護活動の実際から、在宅ケアにおける看護職の役割を学ぶ。

- 1) 地域で療養生活を送る個人および家族の生活と健康状況との関連を理解できる。
- 2) 地域で療養生活を送る個人および家族の看護上の問題を把握し、生活の質の向上を目指した看護活動を考えることができる。
- 3) 在宅ケアに関わる関係職種・関係機関との連携を理解し、在宅ケアにおける看護職の役割を考えることができる。
- 4) 地域と医療施設の連携の実際を学び、住民の保健・医療・福祉に対するニーズおよび地域連携における看護職の役割を考える。

---

**【実習方法】**

- 1) 実習場所：訪問看護ステーションおよび病院地域連携室
- 2) 実習期間：2週間
- 3) 実習方法：訪問看護ステーションおよび地域連携室の指導者と共に行動する。

---

**【実習評価】**

実習目標に対する到達状況（60%）、実習への参加状況（20%）、実習記録（20%）により評価する。

---

**【その他】**

- ・ 詳細については実習前オリエンテーションで説明する。

---

---

4年次（後期）

---

---

**【概要・目標】**

保健看護活動が行われている場における保健看護管理過程に体験的に参加することによって、実際に行われている保健看護管理を学ぶ。これまでの学習過程で学んできた保健看護の管理に関する現状を知り、理論を活用して問題解決の糸口を見出し、保健看護管理演習と合わせて管理能力を養う。

- 1) 実習施設の指導者と主体的に関連づくりを行う。
- 2) 行動計画に基づき、社会の一員として責任ある行動がとれるようになる。
- 3) 保健看護管理に関する問題を個別化、具体化する。
- 4) これまで学んだ理論的な知見を用いて、問題解決の糸口を見出す。
- 5) 成果が得られるように積極的に行動し、実習内容の自己評価を行う。

---

**【授業内容・スケジュール】**

1. 実習期間：10月の1週間
2. 実習場所：指定された施設より選択する。
3. 実習方法：学生の主体的な実習計画に基づいて行う。
4. 記録：実習内容は所定の用紙に記録する。  
指定の期日迄に提出する。

詳細については別途実習要項を配布する。

---

**【評価】**

実習目標（評価表）に沿って、自己評価、記録、実習への取り組みなどを総合して評価する。

---

**【推薦参考図書】**

適宜紹介する

---

**【その他】**

**【概要・目標】**

公衆衛生看護活動の実際から、個人・家族・集団・組織における健康課題を解決するための支援についての方法と考え方、および保健師の役割について学び、公衆衛生看護活動を展開できる基礎的な実践能力を養う。

- 1) 個人・家族・集団・組織のヘルスニーズに応じて様々な技術や活動を組み合わせて展開する公衆衛生看護活動を捉える。
- 2) 住民が主体的・組織的に健康課題を解決するための公衆衛生看護活動の方法を概説する。
- 3) 公衆衛生看護活動の実際から、その意義と行政における保健師の役割と機能について考察する。
- 4) 関係者・機関、住民との連携・協働の必要性と方法およびその中の保健師の役割を説明する。
- 5) 地域住民の健康・生活の実態や社会資源など、地域診断に必要な情報を収集しアセスメントすることで、地域のヘルスニーズを検討する。

---

**【実習方法】**

- 1) 実習場所：保健所および市町村
- 2) 実習期間：2 週間
- 3) 実習方法：保健所および市町村における保健事業や会議等への参加、家庭訪問、地区踏査、施設見学など

---

**【実習評価】**

実習目標に対する到達状況（60%）、実習への参加状況（20%）、実習記録（20%）により評価する。

---

**【その他】**

- ・ 詳細については実習前オリエンテーションで説明する。
- ・ 実習地までの通学定期を購入する場合は、実習開始の 40 日前までに事務室へ申し出ること。

**【概要・目標】**

特定の健康課題・発達課題等をもつ小集団を対象とした地区活動の展開方法を習得する。その過程を通して、集団のヘルスニーズの明確化、ヘルスニーズに即した保健福祉サービスやケアシステムの適用・改善・創造、関係者・住民との連携・協働のあり方、保健師の役割について理解を深め、実践へ適応する能力を養う。

- 1) 家族を単位として、主体的な健康課題解決への支援を実施する。
- 2) 対象集団を構成する個人・家族の健康・生活の実態や社会資源などについて情報収集しアセスメントすることで、対象集団のヘルスニーズを明らかにする（地域診断）。
- 3) 対象集団の健康課題解決・改善に向けた地区活動の企画・実施・評価といった一連の過程を展開する。
- 4) ヘルスニーズに即した地区活動の展開に際し関係者・機関、住民との連携・協働を模索し、有効なケア体制について発展的に考察する。
- 5) ヘルスニーズに即した地区活動の充実・発展の方向性およびその中で保健師が果たすべき役割を検討し、次年度活動計画を作成する。

---

**【実習方法】**

- 1) 実習場所：保健所および市町村
- 2) 実習期間：3週間
- 3) 実習方法：対象集団を構成する個人への家庭訪問、抽出した健康課題に関連する保健事業や会議等への参加、関連機関・関係者へのインタビュー、地域診断、健康教育等の地区活動計画作成・実施・評価、継続家庭訪問、次年度計画作成など

---

**【実習評価】**

実習目標に対する到達状況（60%）、実習への参加状況（20%）、実習記録（20%）により評価する。

---

**【その他】**

- ・ 詳細については実習前オリエンテーションで説明する。
- ・ 実習地までの通学定期を購入する場合は、実習開始の40日前までに事務室へ申し出ること。